被爆75年 ヒロシマ・ナガサキ

コロナ禍のもとで考えよう 核兵器・地球・私たちの未来

広島と長崎で核兵器が最初に使われてからことしで75年になります。

年明けからまもなく新型コロナウイルスが瞬く間に広がり、日本でも世界でも人々はマスクをかけ、仕事や学校を休み、店を閉め、イベントや会合を中止したり延期したりして、新型コロナとのたたかいや協力し合ってきました。国際政治の舞台でも国連のグテーレス事務総長はいち早く、世界の一切の武力紛争を止め、新型コロナとのたたかいに協力するよう呼びかけました。

新型コロナとのたたかいは、人間の命や安全、被爆者のみなさんが警告してきた核兵器の問題について考える大きな機会ともなっています。

世界にある核兵器の数はおよそ一万4千発。紛争であれ、誤報やミス操作、事故によるものであれ、そのうち一部でも使われれば被害は計り知れないものになります。しかも、広島や長崎の即大な犠牲が示すように、その被害者のほとんどは「一般の市民」です。

自分の国の利益や「安全」を第一とする核大国の自国優先主義の下で、いま、これまでもあった核兵器配備の制限さえ相次いで無効にされ、使いやすい新たな核兵器の開発・配備が急ピッチで進められています。核や平和の問題でも、地球環境や新型コロナ感染の問題でも、もはや大国の軍拡や争いでは少しにも解決しません。対立や分断は、みずからの信頼を損なうだけです。それは世界中の人々が日々、痛感していることです。

2017年7月7日、国連は、被爆者と市民社会の運動と協力し、人類の長年の願いであった核兵器禁止条約を成一122、反対ゼロの圧倒的大差で採択しました。条約に調印した国は81、批准した国は37か国に達し、（2020年6月現在）、発効要件の50か国に一歩一歩近づいています。この流れは人々が協力し合えば、核兵器のない平和な公正な世界は可能なことを示しています。

このパンフレットがその道を考え、知恵を出し、行動する上で、お役に立つことを願っています。

核兵器廃絶 "国連の最優先課題"です

国連軍縮諮問委員会上級代表 中満 泉さん

1945年8月に広島と長崎に原爆が投下され、人々に甚大な苦しみをもたらし、核兵器が私たちの世界に初めて登場してから、75年が経過しました。この間、核実験がこなわれ、計り知れない苦難と環境破壊を引き起こしました。75年の間、私たちの世界は核による絶滅の脅威の下に怯えさせました。

これが、事務総長の軍縮アジェンダ（私たちの共通の未来のために）に明確に示されているように、核兵器廃絶がこなお国連の最優先課題1つである理由です。

この分野でかなりの進歩が達成されましたが、近年核兵器廃絶のペースは停滞し、核保有国は核兵器の近代化にとりくみ、それにより質的な核軍備競争が起こっています。軍縮管理・軍縮条約は見直され、それに代わるものが何もありません。廃棄されたものもありません。

現在の行き詰まった状況を唯一打開できるのは、建設的な対話しかありません。そのためには、相互の信頼と信頼を再構築することが急務です。

原水協がとりくむ国民向けキャンペーンは、核戦争の危険性に対する認識を高め、世界的な核軍縮の課題を推進するための重要な役割をはたしています。被爆者の方々が明確に述べてきたように、核兵器の使用を防ぐ唯一の保証は核兵器の完全な廃絶です。

私たち国際社会が団結し、核兵器のない世界という崇高な目的を次世代及び将来の世代に現実のものとするために共通のビジョンと道程を再びに示さなければなりません。

CONTENTS

1 被爆75年、いま核兵器をなくすべき……P3
2 核兵器はいらない……P7
3 人類は核兵器のない世界の実現へ進む……P13
4 核廃絶の先頭に立つ日本を……P17
5 未来を創るのは私たち……P19

Chapter 1

被爆75年、いま核兵器をなくすべき

核兵器がもたらすものは死滅と破壊しかないのです

サーロー節子 広島被爆者

核兵器についてのメッセージ

ローマ教皇 フランシスコ

核兵器は完全に廃絶されるべき

セルジオ・ドゥアルテ大使

Chapter 2

大企業は軍拡競争に手を貸すな

税金はあたしたちのために使って

平和と地球環境を守る

医療・介護者も核廃絶を願う

温かな暮力を生かせる未来を取り戻そう

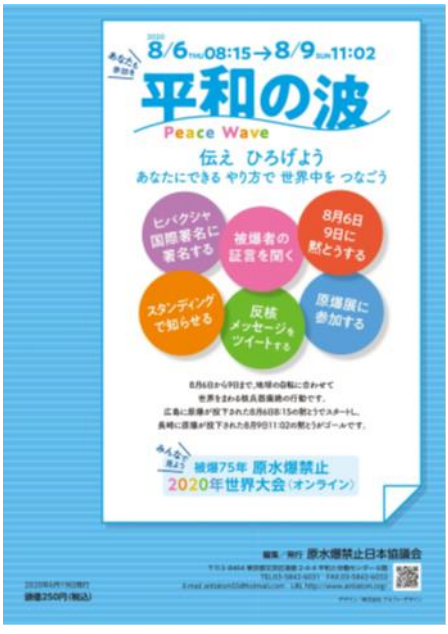
「考えよう核兵器・地球・私たちの未来(未来パンフ)」を普及しましょう

新型コロナとのたたかいは、人間の命や安全、被爆者が警告してきた核兵器の問題について考える大きな機会となっています。いま世界中で、新型コロナ、格差と貧困、地球環境問題の解決、自由と人権、民主主義を求めて人びとがたたかいに立ち上がっています。「核兵器のない世界」の実現へ、共同をひろげるチャンスです。

ことしのパンフは、核兵器の廃絶と非核・平和、核兵器禁止条約に参加する日本の実現を国民的に働きかける学習パンフレットとして制作されています。

B5版24ページ・カラー
【頒価】 250円（税込）

ご注文は県原水協へ。
300冊以上は送料無料



草も樹も生えないと言われた地から起きあがった反核運動～わかばマークは原水協のシンボル　世界大会記念バッジ　【頒価】 320円（税込）

原水爆禁止長崎県協議会ニュース　２０２０年６月２４日
〒850-0035 長崎市元船町5-11-402　ＴＥＬ 095-895-9106　ＦＡＸ 095-895-9102